

シンビオ社会研究会 2012年度 第1回研究談話会

日時：2012年9月19日 14:00-16:40

場所：応用科学研究所 3号棟 2階会議室

オーガナイザ：石井 裕剛（京都大学），伊藤 京子（大阪大学）

プログラム：

14:00 - 15:00

司会 石井 裕剛（京都大学）

「カリフォルニア大学サンディエゴ校滞在記」

大阪大学コミュニケーションデザインセンター 伊藤 京子

概要：

2011年4月～2012年3月の間、アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)に滞在してきました。どうしてあんなに緊張できたのだろう、と思うくらい、最初は学内を移動することや買い物をすることにも緊張していました。少し慣れてきて、なんとか生活できるな、と思い始めたところに、帰国となりました。研究面では、これまでに開発していた合成顔表情システムを UCSD の人々に使ってもらう実験を実施しました。また、エネルギー効率化のインタフェース開発に向けて、エネルギー・環境意識に対する Web 型アンケート調査を実施しました。毎日の生活やそれらの実験、調査の内容、結果などを紹介させて頂きたいと思います。

15:00 - 15:10 休憩

15:10 - 16:10

司会 伊藤 京子（大阪大学）

「最新 IT 技術のプラント保守・解体作業支援への応用の可能性」

京都大学大学院エネルギー科学研究科 石井 裕剛

概要：

コンピュータの小型化・高速化に加えて、画像処理技術やレーザ計測技術の発展により、これまでにない形でプラントの保守作業や解体作業を支援できるようになってきました。本講演では、拡張現実感技術を中心に、プラントの保守作業や解体作業の支援に応用が期待される新しい IT 技術を研究事例と共に紹介し、近未来のプラント保守・解体作業のあり方を考えてみたいと思います。

16:10 - 16:40

司会 伊藤 京子（大阪大学）

総合討論「最新 IT 技術は役に立つのか？」